

古河市子育て支援ガイドブック

～ひとりで悩まないで～



古河市

育児のことで悩んでいませんか？

幼少期編



ことば

- ことばがゆっくりな気がする
- 吃音が気になる
- お話はするけどやりとりになりにくい気がする
- 発音が聞き取りにくく、お友達にうまく伝わらないみたい



人とのやりとり

- 声をかけても聞こえていないようにふるまうことがある
- お友達とうまく遊べない
- 幼稚園等の集団生活の中で先生の声かけを聞いて行動することが難しいみたい



行動

- 落ち着きがなく、静かにしてほしいときも動き回る
- 気持ちが伝わらないと泣き続けたり、人に手が出ることもある



生活

- トイレトレーニングがなかなか進まない
- 初めての場所や初めての人が苦手で、新しい経験がなかなかできにくいなど

お子様一人一人に合わせた対応

お子様一人一人に合わせた関わりをすることで、お子様の気づきを広げることができ、よりご本人らしく成長していくことができます。お子様一人一人に合わせた関わりを保護者様と一緒に考えていく専門機関が古河市にはあります。一人で悩まず、気軽にご相談ください。

ひとりで悩まず気軽に相談してください

相談窓口

乳幼児の発達について相談したい方

○古河市役所 子育て包括支援課 母子保健係

古河市新久田 271-1 古河市福祉の森会館

TEL 0280-48-6882

○古河市児童発達支援センターぐるんぱ

古河市新久田 271-1 古河市福祉の森会館

TEL 0280-48-7040

小学校入学に向けて心配がある方

○古河市役所 指導課 教育相談係

古河市長谷町 38-18 古河市役所古河庁舎

TEL0280-22-5111

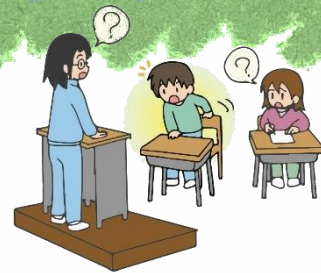
お子様の生活面や学習面でお悩みのことはありますか？

小中学生編

すぐ
かっとなる



落ち着かない、
立ち歩く



こだわりが
強い



順番が
待てない



忘れ物が多い
準備や片付けが苦手



たびたび読み間違う
たどたどしく読む
書き間違いが多い



うまく遊べない



なわとびやはさみなど物をうまく使えない
人と合わせる動きが苦手



より充実した学校生活を送るために

お子様の生活面や学習面で気になることは、実はお子様自身も何とかしたいけどどうにもできないと困っていることかもしれません。それは、お子様の発達の特性から起こっている可能性もあります。

古河市には保護者の方やお子様が困っていることを一緒に考え解決の糸口を探るための相談窓口があります。ひとりで悩まず、気軽にご相談ください。

相談窓口

学校生活の中での相談をしたい方

○特別支援教育コーディネーター（すべての小中学校にいます）

学校内での支援体制の調整を行う等、配慮が必要なお子様にとって必要なことを担任の先生と一緒に考えてくれます。直接在籍している学校に相談ください。

○スクールカウンセラー（すべての小中学校に決められた日に学校にいます）

学校教育に関する心の専門家として、保護者や子どもに対してカウンセリングを行なっています。直接在籍している学校にご相談ください。

○指導課 教育相談係

子どもの学校生活における悩みや特別支援教育や生徒指導上のさまざまな問題について、相談に応じています。

古河市長谷町 38-18 古河市役所古河庁舎 TEL0280-22-5111

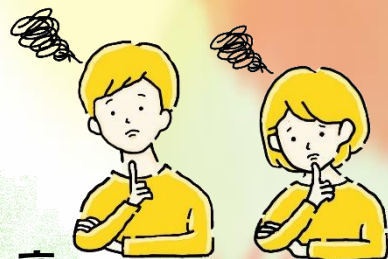
お子様の発達について相談したい方

○古河市児童発達支援センターぐるんぱ

古河市新久田 271-1 古河市福祉の森会館 TEL 0280-48-7040

お子様の特性への理解と必要な支援について

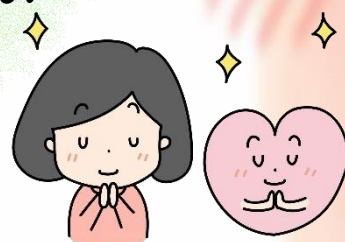
高校生編



幼少期編や小中学校編で見られる子供の発達の特性は、高校生や社会人になり環境が変わることにより現れ方が違ってきます。

- 人間関係が上手くいかない
- 指示された意図がわからない
- 仕事に集中できない
- 途中で口を挟む
- 仕事の段取りができない
- 同時に複数のことができない
- 場の空気が読めない
- 自分のやり方にこだわる

周囲の人の理解と配慮を



上記の特性により、生活のしづらさを感じつつ暮らしている方も少なくありません。私たち一人一人がその特性を理解し、その人らしく生活できるよう応援していきましょう。

対応例

- 具体的に伝える（抽象的な表現では何をどのようにすればよいかわからないことがあります）
「いつものようにやって」⇒「2時までに報告してください」
- 伝えたい事は短く、簡潔に出します（複数の情報を伝えると混乱してしまうことがあります）
「無理しないでできるところまででいいよ」⇒「ここまでやってください」
- 肯定的な表現で伝える（否定的な表現に敏感で意欲が下がってしまうことがあります）
「これではだめだ。どうしてできないんだ」⇒「こうするとさらによくなるのではないか」

ひとりで悩まないで

発達特性により、成長とともに自然と身に付かない、学習に励んでも習得できない、周囲との関係が築けないなど日常生活や社会生活で著しい困難を抱えている場合もあり、本人の努力だけでは解決できないこともあります。まずは、相談機関につながる事が大切です。サービスや支援につながることで悩みや不安が解消されるかもしれません。困ったことや気になることがあったときは、ひとりで悩まずに相談してください。

相談窓口

日常生活の不安や悩み心配事に対して必要な情報の提供や

障害福祉サービスの利用支援等の相談

○古河市基幹相談支援センター

・青嵐荘つくし園相談支援事業所

古河市上大野 2290-1 TEL 0280-23-1161

○古河市地域相談支援センター

・あじさい学園相談支援事業所

古河市鴻巣 1111 TEL 0280-48-0431

・ライフサポートセンターネーブル

古河市下大野 2165-2 TEL 0280-92-1288

・まくらがの里どんぐり

古河市上大野 1943-11 TEL0280-97-1123

障がい福祉サービスについての申請・受付

○古河市役所 障がい福祉課

古河市駒羽根 1501 TEL 0280-92-4919

発達障がい全般に関する相談

○茨城県発達障害者支援センターCOLORS つくば

つくば市高崎 802-1 TEL 029-875-3485

古河市子育て支援ガイドブック

令和5年5月初版

発行 古河市障害者自立支援協議会
障がい児支援専門部会

〒306-0221 古河市駒羽根1501

古河市総和福祉センター「健康の駅」

TEL 0280-92-4919 FAX 0280-92-5594

◎この冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています

無断転載を禁じます